

平成 27 年度～ 28 年度（2015～2016 年度） 外国語教育部門 活動報告

CEGLOC 外国語教育部門長 臼 山 利 信

2015 年 4 月にグローバルコミュニケーション教育センター（CEGLOC）が発足し、2 年目を終えようとしている。旧外国語センターを引き継いだ CEGLOC 外国語教育部門は、平成 27 年度から平成 28 年度にわたって、英語セクション、初習外国語セクション（ドイツ語、フランス語、中国語、ロシア語、スペイン語、朝鮮語）ともに教育の質を保証していくための取り組みに真剣に取り組んだ。

以下に外国語教育部門の主な取り組みをまとめ、活動報告として紹介する。

1. 平成 27 年度（2015 年度） CEGLOC 外国語教育部門 実績報告
2. 平成 28 年度（2016 年度） CEGLOC 外国語教育部門 活動報告
3. 平成 28 年度（2016 年度） 公開講演会および学術講演会の記録と要旨
4. 平成 28 年度（2016 年度） 海外研修記録

平成 27 年度（2015 年度）実績報告書

CEGLOC 外国語教育部門

1. 概況

CEGLOC 発足の年であり、再編に伴い新組織移行に係る一定の混乱が予想されたものの、再編上の問題は特に生じなかった。年々実施されている非常勤講師枠の削減や定年退職による人員削減などに対して、英語セクションおよび初修外国語の各セクションは、カリキュラム上の工夫による合併クラスの組織や関係教員による献身的かつ相補的なバックアップ体制などにより、授業運営に支障をきたすことなく適切に対応した。また海外語学研修にも力を入れた。さらに全学的な教育施策として実施している TOEFL 対策講座についても強い責任感を持って着実に取り組んだ。

全体として、学生に対する教育の質保証という意味で、前年度に劣らないパフォーマンスを維持できたと総括できる。したがって、平成 27 年度についても、本学の「教養教育スタンダード」の理念と目標に則った外国語教育活動を展開できたと考えている。

2. 教育

英語教育については、CALL システムを活用した授業を推奨し、積極的に展開した。CALL 設備をより効率的かつ効果的に運用し、マルチメディア教材や e-ラーニング教材を導入した授業を行うための教員研修を行った。また、1 年次対象必修科目である「異文化と英語」の教授法を巡って FD 研修会を実施した。こうした取り組みは、CEGLOC の英語教育の質を高い水準で維持していく上で極めて有効である。

単位取得を伴う海外語学研修では、夏期に英語研修（オックスフォード大学）、ドイツ語研修（バイロイト大学）、中国語研修（湖南大学）、ロシア語研修（ロシア・サンクトペテルブルグ大学）が例年どおり実施されたことに加え、アラビア語研修（モロッコ・アル＝アハイン大学）と二つのロシア語研修（キルギス・キルギス民族大学 在キルギス日本人材開発センター）が新規に行われた。また春期でも中国語研修（上海華東師範大学）のほかに、新たに三つ目のロシア語研修（カザフスタン・カザフ国立大学）が実施された。いずれの取り組みも国際舞台で活躍するための実践的コミュニケーション能力を伸ばす教育活動であり、本学が目指すグローバル人材育成に寄与するものである。

3. 研究

CEGLOC 外国語教育部門の定期学術誌である『外国語教育論集』第 38 号を刊行した。その中で 4 本の研究論文と 3 本の研究ノートが発表された。

ロシア語セクションから『日本人のためのベラルーシ語入門Ⅰ』（監修：白山利信、著者：タッチャーナ・ラムザ、清沢紫織）を刊行した。本書はベラルーシ本国のテレビ・ラジオ・新聞・雑誌などのマスメディアで大きく取り上げられ、社会的に高い評価を得た。

CEGLOC 開設記念公開講演会・シンポジウムを2015年6月15日に盛大に開催した。招聘講師の高田康成氏（東京大学名誉教授・元東京大学グローバルコミュニケーション研究センター長）の講演、同氏を中心とした学術的討議を行った。同氏の指摘した「日本の近代化の歴史を踏まえたトライリンガル教育の導入・定着・強化、世界の多様性と日本の地政学的戦略性に配慮した言語教育の必要性」は、CEGLOC 外国語教育部門の目指すべき方向性という意味で、有益な視座に成りうるものと考えられる。

4. 社会連携

ロシア語セクションでは、海外語学研修先をロシア連邦に加えて、旧ソ連地域でロシア語圏諸国であるキルギスとカザフスタンでのロシア語研修を実施できる体制を構築した。それを踏まえて、海外語学研修用の教材開発に着手し、現地の社会事情や文化事情を教材の内容に反映させる目的でその具体的な助言を得るために、CEGLOC 共同研究員として、外務省欧州局中央アジア・コーカサス室長の七澤淳氏を招聘した。こうした外務省との教育実務上の連携は双方にメリットがあり、社会連携の一つのモデルとなり得る。

5. その他の業務運営等

CEGLOC 技術支援室（野田恵美子技術職員）が中心となり、ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンターのアクセシビリティ部門と協力して、外国語教育部門で授業を担当する教員向けの障害学生支援パンフを作成し、刊行した。そのパンフには、視覚障害を持つ学生、聴覚障害を持つ学生、運動・内部障害を持つ学生、発達障害を持つ学生と、障害のタイプに応じた具体的な支援が示されており、障害学生が通常授業に参加する際に教員にとって大きな手助けとなるものである。その意味で、実用性と啓発性を兼ね備えた貴重な障害学生支援ガイドであり、本学のみならず、他大学でも活用可能な極めて汎用性の高いものとなっている。

6. 課題と展望

毎年のように定年退職者や転出者が出る中、人的な補充がないという人文社会系の方針に沿った授業運営、組織運営が求められている。非常に厳しい時代である。したがって、これまで以上に創意工夫をしながら、外国語教育部門関連の業務を簡素化し、効率化していく必要がある。

また、経費削減のもとで、英語および初修外国語の教育実施体制を維持し、教育の質保証についても担保していかなければならない。これまでどおりの人員配置

や条件などについても、戦略的・長期的な見地から可能な範囲で見直していくことが今後必要になるかもしれない。

CEGLOC は、人文社会系の下部組織としての位置付けから常に物事を発想していかねばならないが、全学的な経費削減の流れの中で、CEGLOC 外国語教育部門に所属する教員としての役割と、人社系において教員各自が関係する教育組織での役割を明確にしながら、無理のない、均衡の取れた働き方を模索する必要がある。

経費削減に対抗する措置の一つは、外部資金の獲得である。決して容易なことではないが、そのための努力が重要である。またエクステンションプログラムを活用した公開講座の展開も具体的な視野に入れる必要があるかもしれない。今後の大きな課題である。

いずれにしても、激しい時代変化、社会変化を見据えながら、そしてその時代潮流の只中にある大学（学内）の変化の波を見極めながら、常に本学の教養教育の理念・目標を踏まえ、中長期の目標、短期の目標を明確にして、外国語教育のミッションを遂行していくことが大切である。

2016年度（平成28年度）活動報告

1. 教育

- (1) 新入生英語プレースメントテスト（4月8日）
- (2) 春学期期末試験（ABモジュール6月28日～7月4日）
（ABCモジュール8月3日～8月9日）
- (3) ドイツ語研修（パイロイト大学、8月2日～8月26日5名）
- (4) 中国語研修（湖南大学、8月26日～9月12日6名）
- (5) 英語研修（オックスフォード大学、8月28日～9月17日12名）
- (6) フランス語研修（グルノーブル大学・サンテチエンヌ大学、8月29日～9月23日5名）
- (7) ロシア語研修（サンクトペテルブルグ大学、9月3日～9月26日4名）
- (8) ロシア語研修（キルギス民族大学・キルギス日本人材開発センター、9月1日～9月24日3名）
- (9) 2学期入学者プレースメントテスト（9月29日）
- (10) 秋学期期末試験（ABモジュール12月16日、12月22日～12月28日）
（ABCモジュール2月9日～2月15日）
- (11) ロシア語研修（カザフ国立大学、2月18日～3月11日予定）
- (12) フランス語研修（サンテチエンヌ大学、2月27日～3月24日予定）
- (13) 中国語研修（上海華東師範大学、3月3日～3月27日予定）

*担当教員不在のため、アラビア語研修は実施せず。

2. 会議・委員会

- (1) 外国語教育部門担当者連絡会議（4月6日、5月11日、6月1日、7月6日、10月3日、11月2日、12月7日、1月11日、1月27日（メール審議）、2月8日（予定）、3月1日（予定））
- (2) 外国語教育部門人事計画室会議（4月6日、5月25日、6月22日、7月27日、10月26日、11月2日（臨時）、30日、12月28日、1月19日（臨時）、25日（メール審議）、2月22日（予定）、3月22日（予定））
- (3) 外国語教育部門会議（4月27日、1月19日）
- (4) CEGLOC企画調整部門会議（4月6日、4月21日（メール審議）、5月11日、6月1日、7月6日、8月30日（メール審議）、9月5日（メール審議）、10月5日、10月11日（メール審議）、10月21日（メール審議）、11月2日12月7日、1月11日、2月8日（予定）、3月1日（予定））
- (5) CEGLOC運営委員会（4月20日、11月2日）
- (6) CEGLOC全体会議（6月1日、12月7日）
- (7) ホームページ管理委員会（7月1日、7月6日）

- (8) 『外国語教育論集』編集委員会（7月6日、10月5日、11月16日、11月30日）
- (9) 検定運営委員会（7月29日）

3. 平成28年度「教育戦略推進プロジェクト支援事業」

- (1) 第3回トライリンガルデー（ドイツ語・フランス語・スペイン語）
 テーマ：ゲームをしながら、三言語を学びましょう！
 日時：2017年1月18日
 オーガナイザー：小松祐子（筑波大学准教授）
 協力教員：武井隆道（筑波大学教授）、シュミット マリア（筑波大学准教授）、
 ジャクタ ブルノ（筑波大学助教）ほか

4. 研究大会

- (1) 外国語教育メディア学会 関東支部 第137回 研究大会(CEGLOCとの共催)
 大会テーマ：CLILの現在と今後—日本におけるCLILの実践を考える—
 日時：2016年12月10日
 会場校責任者：小野雄一（筑波大学助教）

5. 講演会

- (1) 2016年度CEGLOC主催 新入生に贈る公開講演会
 題目：グローバル時代を生きるためのヒント
 日時：2016年5月12日
 講師：白山利信（筑波大学教授）
- (2) 第6回 公開講演会「激動のグローバル世界に挑む」（Ge-NISプログラムとの協力）
 題目：極東開発とロシア
 日時：2016年12月21日
 講師：徳永昌弘（関西大学商学部教授）
- (3) 第7回 公開講演会「激動のグローバル世界に挑む」（Ge-NISプログラムとの協力）
 題目：コーカサスの歴史と文化
 日時：2016年12月22日
 講師：Konstantine TSERETELI（トビリシ自由大学大学教授）
- (4) 第8回 公開講演会「激動のグローバル世界に挑む」（Ge-NISプログラムとの協力）
 題目：はじめての国際マナー
 日時：2017年1月23日
 講師：堺 真理子（人材開発コンサルタント）
- (5) 第9回 公開講演会「激動のグローバル世界に挑む」（Ge-NISプログラムとの

協力)

題目：変化するグローバル社会を生きるためのキャリアデザインと能力開発

日時：2017年2月7日

講師：當作 靖彦（カリフォルニア大学サンディエゴ校教授）

- (6) 第10回 公開講演会「激動のグローバル世界に挑む」(Ge-NIS プログラムとの協力)

題目：北方領土問題の行方

日時：2017年2月13日

講師：大野正美（朝日新聞記者）

6. FD 研修会

- (1) 第5回 CEGLOC 外国語教育部門 FD 研修会（ワークショップ）
 テーマ：Foreign Languages as Academic subject & Communication Tool
 日時：2016年7月9日
 オーガナイザー：ジャクタ ブルノ（筑波大学助教）
- (2) 第6回 CEGLOC 外国語教育部門 FD 研修会（パネルディスカッション）
 テーマ：授業でうまくいかないこと Motivation & students
 日時：2016年11月8日
 オーガナイザー：ジャクタ ブルノ（筑波大学助教）
- (2) 第7回 CEGLOC 外国語教育部門 FD 研修会
 テーマ：外国語教育における動機づけ
 日時：2016年1月17日
 オーガナイザー：ジャクタ ブルノ（筑波大学助教）

7. 留学説明会

- (1) フランス語留学説明会
 日時：2016年4月13日、10月19日
 担当：小松祐子（筑波大学准教授）、ジャクタ ブルノ（筑波大学助教）
- (2) フランス語相談会
 日時：2016年6月29日
 担当：小松祐子（筑波大学准教授）、ジャクタ ブルノ（筑波大学助教）

8. TOEFL

- (1) TOEFL テスト説明会
 日時：2016年4月20日、4月25日、5月18日、10月12日、11月11日
 担当：山田なほみ・木村裕美（CEGLOC 事務室）
- (2) 学群1年次対象 TOEFL ITP の実施
 日時：2016年5月21日

- 担当：山田なほみ・木村裕美（CEGLOC 事務室）他
- (3) 学群 3 年次対象 TOEFL ITP の実施
日時：2016 年 6 月 11 日
担当：山田なほみ・木村裕美（CEGLOC 事務室）他
- (4) 人文・文化学群、社会国際学群対象 TOEFL ITP の実施
日時：2016 年 11 月 30 日
担当：山田なほみ・木村裕美（CEGLOC 事務室）他

9. 見学受入

- (1) 栃木県立茂木高等学校総合学科 2 年
日時：2016 年 5 月 20 日
- (2) 岩瀬日本大学高等学校普通科特進コース 2・3 年
日時：2016 年 6 月 3 日
- (3) 栃木県立さくら清修高等学校総合学科 2 年
日時：2016 年 6 月 17 日
- (4) 東京都立北園高等学校普通科文系 2 年
日時：2016 年 7 月 14 日
- (5) 群馬県立沼田高校普通科 2 年
日時：2016 年 7 月 19 日
- (6) 新潟県立柏崎翔洋中等教育学校普通科 2 年
日時：2016 年 7 月 26 日
- (7) 栃木県立宇都宮中央女子高等学校普通科 1～3 年
日時：2016 年 8 月 25 日
- (8) 土浦日本大学高等学校普通科特進コース
日時：2016 年 8 月 25 日
- (9) 栃木県立栃木女子高等学校普通科 1 年
日時：2016 年 10 月 21 日
- (10) 福島県立福島東高等学校普通科 2 年
日時：2016 年 10 月 26 日
- (11) 叡明高校普通科 1・2 年
日時：2016 年 12 月 7 日
- (12) 水城高校普通科 2 年
日時：2017 年 3 月 6 日（予定）
- 上記 12 校の受入担当：野田恵美子（CEGLOC 技術職員）